

平成28年度福島県 一般会計 歳入歳出決算審査意見 特別会計

第 1 審 査 の 概 要

1 審査の対象

平成28年度福島県一般会計

平成28年度福島県公債管理特別会計

平成28年度福島県土地取得事業特別会計

平成28年度福島県母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計

平成28年度福島県小規模企業者等設備導入資金貸付金等特別会計

平成28年度福島県就農支援資金等貸付金特別会計

平成28年度福島県林業・木材産業改善資金貸付金特別会計

平成28年度福島県沿岸漁業改善資金貸付金特別会計

平成28年度福島県港湾整備事業特別会計

平成28年度福島県流域下水道事業特別会計

平成28年度福島県証紙収入整理特別会計

平成28年度福島県奨学資金貸付金特別会計

2 審査の期間

平成29年8月1日から同年9月4日まで

3 審査の手続

平成28年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書などの審査に当たっては、

(1) 決算の計数は、関係諸帳簿及び証書類と符合し正確であるか

(2) 予算の執行は、議会の議決に沿い、かつ、地方自治法第2条第14項及び第15項の規定に基づき、効率的、合理的に執行されたか

(3) 財務に関する事務は、関係法令に準拠し適正に執行されたか

(4) 財産の取得、管理及び処分は適正に行われたか

を主眼として、関係諸帳簿及び証書類を照合するとともに、必要な資料の提出を求めて関係部局の説明を聴取し、併せて定期監査及び例月出納検査の結果を踏まえて慎重に審査を行った。

第 2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

平成28年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算に係る計数は、関係諸帳簿、証書類及び県指定金融機関発行の公金・収支現在高報告書の計数と符合しており、相違ないことを確認した。

また、予算の執行、財務に関する事務及び財産の管理については、一部に改善を要するものが見受けられたものの、おおむね適正に執行されたものと認められる。

なお、平成28年度の決算の状況は、次のとおりである。

(1) 一般会計

平成28年度の一般会計歳入歳出決算額は、歳入が2兆1,618億6,850万8,678円、歳出が2兆704億6,606万1,886円となり、前年度に比較して、歳入で2.0%、歳出で2.8%それぞれ増加した。前年度に比較して一般会計歳入歳出決算額は増加し、東日本大震災及び原子力災害等の対応に係る事業費が極めて多額になったことなどにより、引き続き、県政史上最大規模の決算及び歳入・歳出の構造となっている。歳入では、国庫支出金、地方交付税、県税、使用料及び手数料などが増加したが、県債、繰越金などが減少し、歳出では、衛生費、土木費、農林水産業費などが増加し、総務費、商工費などが減少している。

歳入決算額の財源別状況をみると、自主財源は県税が増加したが、繰越金や諸収入が減少したことにより、前年度に比較して3.3%減少し、構成比も2.5ポイント減の48.2%となった。一方、依存財源は、国庫支出金や地方交付税が増加したことにより、前年度に比較して7.4%増加し、構成比も2.5ポイント増の51.8%となった。

歳出決算額の性質別状況をみると、義務的経費は、前年度に比較して4.9%減少し、構成比も1.6ポイント減の19.9%となった。投資的経費は、普通建設事業費、国直轄事業負担金が増加したことにより、前年度に比較して12.3%増加し、構成比では1.5ポイント増の18.7%となった。また、その他の経費は、前年度に比較して2.9%増加し、構成比では0.1ポイント増の61.4%となった。

この結果、歳入歳出差引額は914億244万6,792円となり、この歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支額は83億718万7,463円の黒字、実質収支額から前年度実質収支額を差し引いた単年度収支額も5億9,421万8,992円の黒字となっている。この単年度収支額に財政調整基金への積立金及び地方債繰上償還金を加算し、財政調整基金からの取崩額を差し引いた実質単年度収支額は、46億1,883万2,561円の赤字（平成27年度は27億2,752万38円の赤字）となっている。

(2) 特別会計

公債管理特別会計など11特別会計合計の歳入歳出決算額は、歳入が790億5,149万7,998円、歳出が753億1,619万6,084円となり、前年度に比較して、歳入で8.3%、歳出で5.8%それぞれ減少している。

これは、公債管理特別会計で、元金の償還が減少し、これに伴い借換債が減少したことなどによるものである。

この結果、歳入歳出差引額は37億3,530万1,914円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支額は32億8,152万7,753円の黒字となっている。

2 意 見

本県の財政は、「復興」及び「地方創生」の推進のため、避難地域の再生や新産業の創出に向けた広範かつ多額の財政需要をはじめ、人口減少・高齢化対策の経費など、予算規模が今後も高い水準で推移すると見込まれる。また、後年度の財政負担となる県債残高が、平成28年度末で1兆4,344億円と前年度から206億円増加し、今後も少しずつ増加する傾向にある。歳入・歳出のバランスのとれた財政構造を維持するためには、これまで以上に健全な財政運営に取り組んでいく必要がある。

こうした状況を踏まえ、県税収入をはじめとする歳入の確保に努めるとともに、組織横断的な視点で連携を図りながら、より計画的・効率的な事業執行に努め、「新生ふくしま」の実現に向けて、第3次復興計画及び「ふくしま創生総合戦略」を着実に推し進められたい。

また、以下の事項に特に留意して、事業執行に取り組まれたい。

(1) 予算の執行

ア 収入未済の縮減

収入未済額は、国庫支出金を除き、一般会計で82億1,042万円、特別会計で8億850万円、合計で90億1,892万円となっており、前年度と比較して4億287万円増加している。

自主財源の柱である県税の収入未済額は前年度に比較して2億7,338万円、6.3%減少して40億8,970万円となっているものの、国庫支出金を除く収入未済額における県税の割合は45.3%と高いことから、今後も厳しい財政状況が続く中、税負担の公平性を維持し財源を適正に確保するため、滞納の実態に応じた適切で効果的な徴収対策を講じ、収入未済の縮減を積極的に図る必要がある。

また、税以外の収入にあっては、前年度と比較して6億7,625万円増加し、特別会計を含め49億2,922万円の収入未済が生じていることから、新たな収入未済の発生防止を図るとともに、負担の公平性・公正性を堅持する観点から、債権管理及び徴収に関するマニュアルを整備の上、滞納者個々の実態に即した適正な債権管理と積極的な徴収対策を講じ、収入の確保に一層努力されたい。

なお、一般会計の不納欠損額は3億6,125万円で、前年度に比較して2,335万円、6.9%増加している。今後とも、収入未済の縮減に最大限取り組んだ上、真に回収が困難なものについては速やかな不納欠損処分に努められたい。

イ 繰越の縮減

翌年度繰越額は、土木費で691億円、災害復旧費で528億円、農林水産業費で354億円など総額で2,049億円となっており、前年度と比較して245億円減少している。関係機関や他事業との調整、作業員不足、入札不調などを要因とする復旧・復興事業が大半を占めている。

震災から6年が経過した中、産業の再生や県民の安全・安心確保のためには、早期の事業完了が必要であることから、より計画的な事業管理及び適正

な事業執行に努め、繰越の縮減を図られたい。

(2) 財務事務の適正な執行

ア 内部統制の充実と適正な事務処理能力の向上

定期監査では、定例的な収入・支出事務はセルフチェック表の活用等によりおおむね適正に処理されているものの、その他の事務において、収入の調定時期遅延や算定の誤り、支出事務手続きの漏れなど、一部に不適切な事務処理が認められたことから速やかな是正・改善を求めてきたところである。

これら不適切な事務処理の多くは、震災対応により業務量が大幅に増加し複雑化している現状にあつて、所属における内部統制が十分に働いていないことが要因となっている。こうした状況を踏まえ、不適切な事務処理の発生防止のため、各事務事業の実施に当たっては、発生しうるリスクを十分に分析し、単に複数職員による形式的なチェックにとどまらず、リスクの高低に応じた実質的なチェック体制とするなど、内部統制の更なる充実に努められたい。

また、会計事務研修の更なる充実に努め、職員の財務に関する知識・技能の向上を図るとともに、他部局等の財務事務検査や監査の結果の周知を図るなど、適正かつ的確な財務事務の執行に努められたい。

併せて、補助事業や委託事業の成果確認・検査に当たっては、補助金の不正受給事案が発生していることから、改めてその重要性を十分に認識し、適切な事務処理に努められたい。

イ 財産の適正管理

県有財産は、行政目的を達成するために欠かせない重要な財産であり、庁舎や学校などは災害時の拠点ともなることから、「福島県県有財産最適活用計画」に基づき、適正な管理に努められたい。

また、未利用財産の処分等を推進するとともに、公用車や職員公舎等の集約化・一元化による効率的な管理に一層努められたい。

基金については、前年度に比較して216億4,981万円、2.5%減少したものの、年度末現在高は8,448億7,193万円と依然高い水準にあり、引き続き、その設置目的に沿った適正な管理及び有効な活用に努められたい。